



ちいきあんぜん

つく かた

地域安全マップの作り方

ステップ1 グループを作ってみよう!

- お友達とグループを作ろう。
- 低学年の子は、お父さんやお母さんといっしょに作ろう。
- リーダー、サブラーダー、地図係、写真係、インタビュー係などの役割を決めよう。

ステップ2 「危険な場所」と「安全な場所」を考えよう!

【ポイント1】 「危険な場所」：事件や事故などが起きそうなところ
※ 詳しくは「地域安全マップづくりのポイント」を見てね。

(例) 捨てられた自転車や、いほう駐車が多いところ
木が生い茂っていて周りから見えにくい公園
落書きがあるところ
高いかべが続いていて、ガードレールなどが無い道路
ゴミがたくさん捨てられていて、人が近づきたがらない場所



こどもを守る110番の家

【ポイント2】 「安全な場所」：何かあったら助けを求めることができる(逃げ込める)ところ
(例えば) こどもを守る110番の家や店(コンビニ、ガソリンスタンドなど)
学校、学習じゅく、警察署(交番・ちゅうざい所)

ステップ3 グループで街を歩いてみよう!

【ポイント1】 グループ内で、歩く場所を決めよう。
※ いつも歩いている「通学路」やお友達と遊んでいる「公園」などを中心に考えてみよう。

【ポイント2】 必ず、お父さんやお母さん、お友達といっしょに歩いてね。

【ポイント3】 「危険な場所」と「安全な場所」の写真を撮ろう。
※ 朝(登校時間)や夕方(下校時間)の写真を撮って比べてみよう。
※ 写真を撮るときは、人の顔や家の中などが写らないように注意しよう。

【ポイント4】 地域の人にインタビューをするときには、
大きな声であいさつをしてから質問しよう。

【ポイント5】 「危ないな…」と思ったところをどんどんメモして、
その「理由」を考えてみよう。

【ポイント6】 「カンガルーマーク」(110番の家・店)を探してみよう。

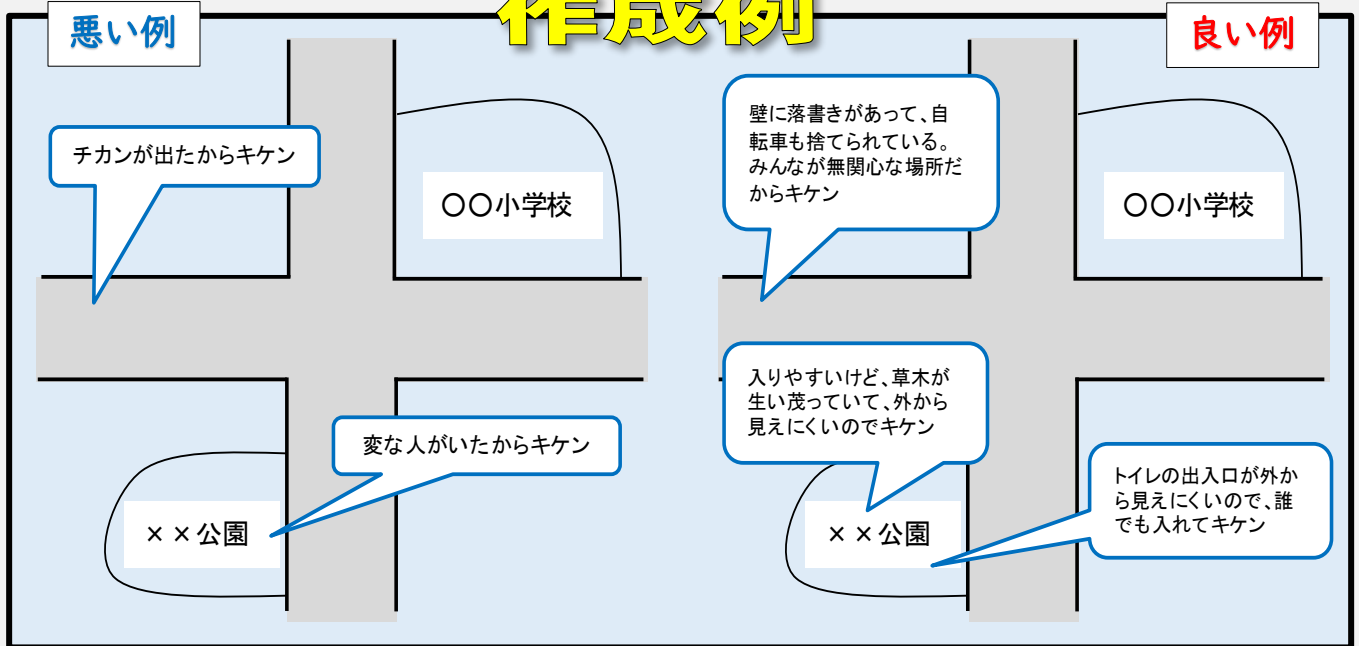
【ポイント7】 車に注意して、交通事故に遭わないように気をつけてね。



ステップ4 マップを作ろう!

- 【ポイント1】 実際に歩いた通学路や学校、遊び場、110番の家(店)などを地図に描いてみよう。
※ 大切なのは「危険な場所」のコメントだから、地図を細かく描く必要はないよ。
- 【ポイント2】 写真を貼ろう。
どの写真を貼るか、どうやって貼るか、みんなと話し合っ**て**決めよう。
※ 車のナンバープレートや家の表札が入っている場合はマジックで塗りつぶしてね。
- 【ポイント3】 コメントを書き込もう。ここが一番大事だよ。
写真を貼った場所がどうして危険なのか、また、どうして安全なのかを考えながら書いてみよう。
※ 個人の名前や車のナンバーなどは書かないでね。
※ 不審者が出た場所は、なぜ、そこに出たのか考えてコメントを書いてみよう。

作成例



不審者がいた場所や、犯罪が発生した場所だけを書いていると「不審者発生マップ」や「犯罪発生マップ」になってしまうよ。

交通事故があった場所だけを書くのも同じで、「交通事故発生マップ」になってしまうから注意しよう。



ステップ5 発表会を開いてみよう!

- マップを作って気づいた「危険な場所」と「安全な場所」について話し合ってみよう。
- 作ってみて、工夫したところや苦労したところを発表してみよう。